

相談機関等へのつながり支援事業【仙台市】

総事業費	5,141 千円
交付金額	3,856 千円

地域の実情と課題

- ・女性は、様々な年代で貧困などの生活上の困難に陥りやすい状況にある。
- ・生理用品など生活するうえで必須な物品の入手が難しい女性の存在も報道などで指摘されている。
- ・敷居の高さを感じるなどの理由で相談窓口につながることのできない女性も一定数存在すると思われる。

事業の特徴

受け取った方が適切な相談窓口につながるができるよう、各種相談機関の情報や出張型相談事業のチラシを同封した。

事業の効果

支援につながっていない人に生理用品と併せ支援先情報を届けることができた。

目的・目標

相談機関等へのつながりを作る機会として、生理用品(相談機関等の情報を同封)を配布する。

【数値目標】配布数 10,000個

【達成状況】10,432個

連携団体

- ① 公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- ② 市内の女性支援団体

今後の課題

支援が必要な人に効果的に届くよう、配布場所や配布数の実情に応じた見直し

●相談機関等へのつながり支援事業

1 開催概要

相談機関等へのつながりを作るきっかけとして、様々な相談機関を掲載したリーフレット及び出張型相談事業のチラシを同封した生理用品を配布した。仙台市の男女共同参画センターであるエル・ソーラ仙台、エル・パーク仙台では女性用トイレに設置し、非対面で配布したほか、各区役所や、仙台市の子育てふれあいプラザ(のびすく)、図書館で配布した。あわせて、女性支援団体等を通じて困難な状況にある女性への配布も行った。

配布数:10,432パック

2 事業効果及び効果検証

- ・支援につながっていない人に、生理用品と合わせて支援先情報を届けることができた。
- ・生理用品と同封配布した、相談機関を掲載したリーフレットをもって仙台市男女共同参画推進センターの相談窓口を訪れるケースもあり、効果が表れてきている。



相談先紹介
リーフレット